

次世代通信関連 アジア株式戦略ファンド (愛称:THE ASIA 5G)

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第4期(決算日 2024年1月9日)
(作成対象期間 2023年1月11日～2024年1月9日)

当期末

| | |
|-------|-----------|
| 基準価額 | 15,935円 |
| 純資産総額 | 42,525百万円 |
| 騰落率 | 32.0% |
| 分配金合計 | 0円 |

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル:0120-668001

(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断をお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)しているアジア次世代通信関連企業の株式(預託証券(DR)を含みます。)に投資しました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

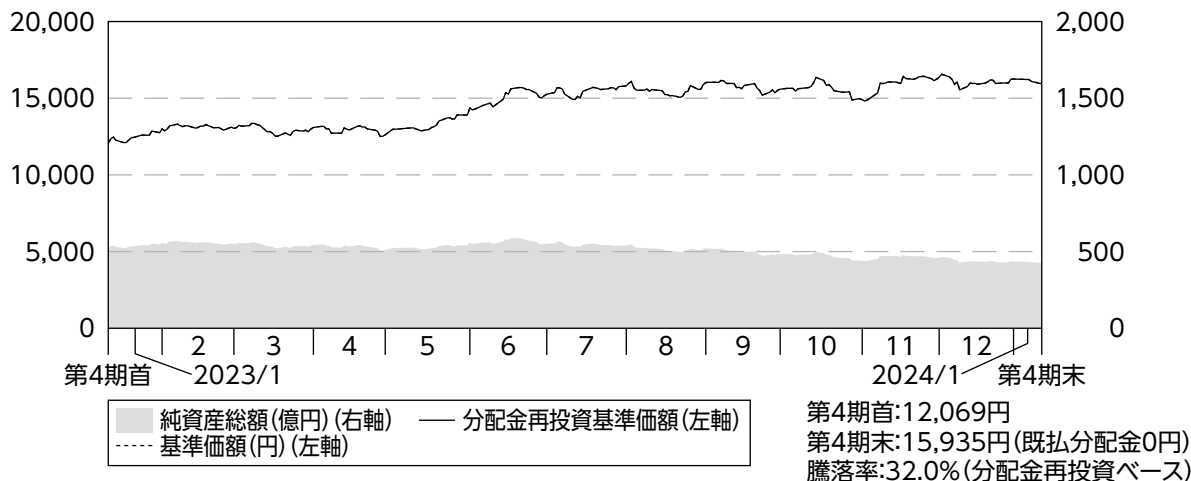
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2023年1月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

2 基準価額の主な変動要因

主な投資対象である「Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class」の基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額も上昇しました。

| 組入ファンド | 投資資産 | 当作成対象 期間末組入比率 | 騰落率 |
|---|-------------------------|------------------|-------|
| Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class | 世界のアジア次世代 通信関連企業*の株式 | 98.6% | 34.4% |
| マネープールマザーファンド | わが国の公社債等 | 0.0% | △0.0% |

*この投資信託において「アジア次世代通信関連企業」とは、日本を含むアジア諸国・地域の通信技術の発展によって業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

運用経過の説明

3 1万口当たりの費用明細

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|------------------|------------------------|---------|--|
| | (2023年1月11日~2024年1月9日) | | |
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 174円 | 1.185% | (a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は14,690円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (投信会社) | (48) | (0.329) | |
| (販売会社) | (121) | (0.823) | |
| (受託会社) | (5) | (0.033) | |
| (b) 売買委託手数料 | — | — | (b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (—) | (—) | |
| (新株予約権証券) | (—) | (—) | |
| (オプション証券等) | (—) | (—) | |
| (新株予約権付社債(転換社債)) | (—) | (—) | |
| (投資信託証券) | (—) | (—) | |
| (商品) | (—) | (—) | |
| (先物・オプション) | (—) | (—) | |
| (c) 有価証券取引税 | — | — | (c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (—) | (—) | |
| (新株予約権証券) | (—) | (—) | |
| (オプション証券等) | (—) | (—) | |
| (新株予約権付社債(転換社債)) | (—) | (—) | |
| (公社債) | (—) | (—) | |
| (投資信託証券) | (—) | (—) | |
| (d) その他費用 | 0 | 0.003 | (d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| (保管費用) | (—) | (—) | |
| (監査費用) | (0) | (0.003) | |
| (その他) | (0) | (0.000) | |
| 合計 | 174 | 1.188 | |

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

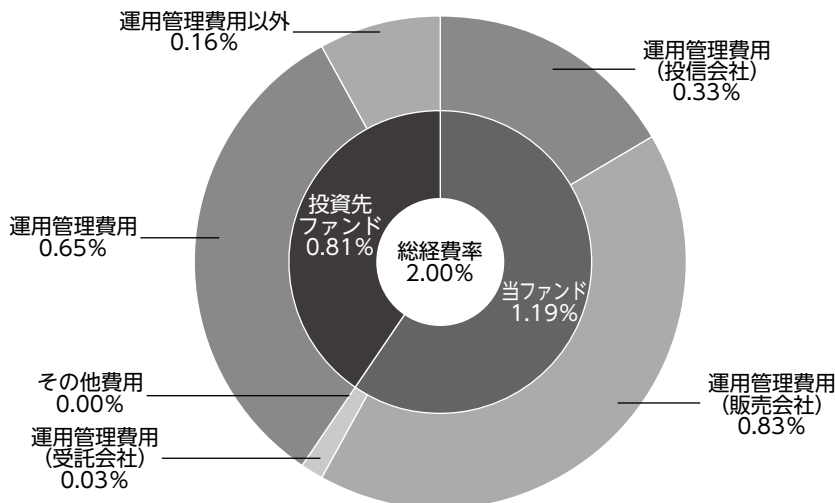
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入ファンドの概要」に表示しております。

運用経過の説明

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.00%です。



| | |
|----------------------|-------|
| 総経費率(①+②+③) | 2.00% |
| ①当ファンドの費用の比率 | 1.19% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.65% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.16% |

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

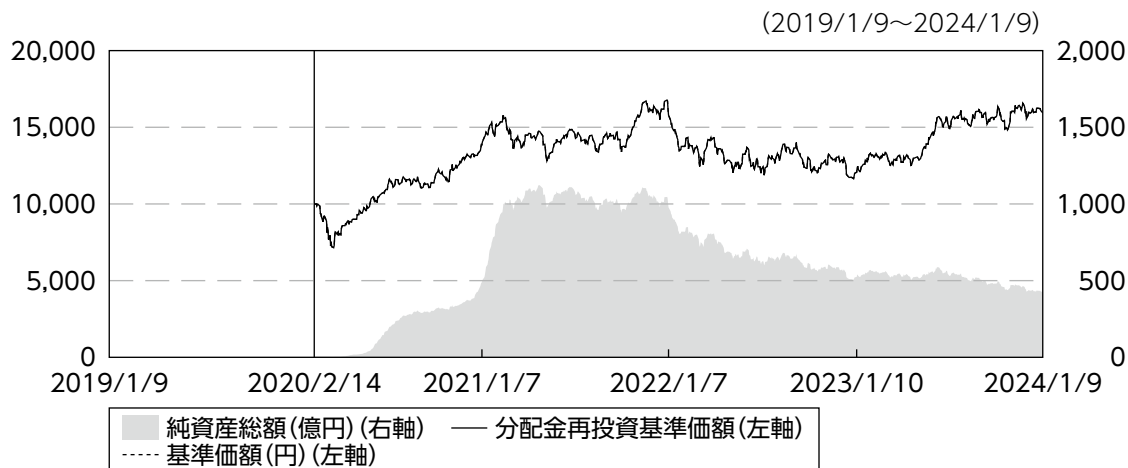
(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

(注8)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注9)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2020年2月14日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

| | 2020年2月14日 設定日 | 2021年1月7日 決算日 | 2022年1月7日 決算日 | 2023年1月10日 決算日 | 2024年1月9日 決算日 |
|-------------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 10,000 | 13,865 | 15,794 | 12,069 | 15,935 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 38.7 | 13.9 | △23.6 | 32.0 |
| 純資産総額 (百万円) | 500 | 49,011 | 97,790 | 52,389 | 42,525 |

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

5 投資環境

アジア株式市場は上昇しました。2022年の大幅な下落相場を受けて割安感が強まったとの見方や、中国におけるゼロコロナ政策の解除を受けた景気回復期待の高まりなどを受けてアジア株式市場は当期初より上昇した後、2023年3月にかけては米中関係悪化懸念や欧米金融機関の連鎖破綻による投資家心理の悪化などから下落しました。その後、中国の金融緩和や景気刺激策への期待などから戻り歩調となりましたが、8月以降は米国の金融引き締めや長期化リスクや中国経済の先行き不安などからアジア株式市場は下落しました。11月から当期末までは、2024年には米国や多くのアジア諸国で利下げが実施されるとの期待感が高まったことなどからアジア株式市場は上昇しました。国別では、好調な企業業績やモディ政権への期待などが追い風となったインド株式市場や、デフレ脱却への期待などが好材料となった日本株式市場が大きく上昇しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

○当ファンド

主な投資対象である「Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class」への投資を高位に保つ運用を行いました。

・Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class

IoT(モノのインターネット)の実現に必須とされる5Gの普及による恩恵が期待できる銘柄に注目した運用を行いました。5Gの普及に伴う技術やサービスの革新は構造的な成長トレンドです。生成AI(人工知能)の普及拡大もあり、こうした構造変化は加速する可能性があります。ポートフォリオでは、通信インフラの整備が進展し、5G通信を利用した機器の普及が加速するとの見方から、IoT機器・装置関連銘柄のウェイトを高位としました。

<投資対象ファンドについては、運用会社からの情報に基づき掲載しています。>

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

| 項目 | 第4期 | |
|---------------|----------------------|--|
| | 2023年1月11日~2024年1月9日 | |
| 当期分配金 (円) | - | |
| (対基準価額比率) (%) | (-) | |
| 当期の収益 (円) | - | |
| 当期の収益以外 (円) | - | |
| 翌期繰越分配対象額 (円) | 5,934 | |

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)-印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

○当ファンド

ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが運用するケイマン籍円建外国投資信託証券「Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class」への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)しているアジア次世代通信関連企業の株式(預託証券(DR)を含みます。)に投資します。

・ Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)しているアジア次世代通信関連企業の株式(預託証券(DR)を含みます。)に投資します。

・ マネープールマザーファンド

主としてわが国の公社債に投資を行い、安定した収益の確保を目指します。

お知らせ

信託期間を無期限とするため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

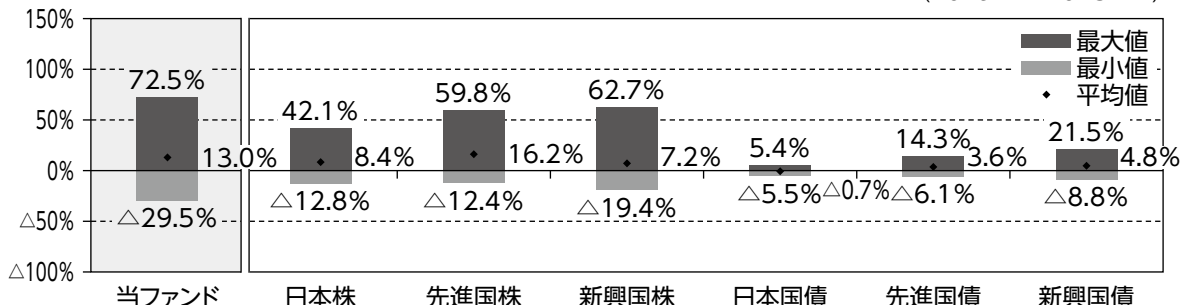
(変更日:2023年10月7日)

当ファンドの概要

| | |
|--------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 信託期間 | 信託期間は2020年2月14日から無期限です。 |
| 運用方針 | 投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シーが運用するケイマン籍円建外国投資信託証券「Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class」(以下「主要投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | <p>主要投資対象ファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国の金融商品取引所等に上場(上場予定を含みます。)しているアジア次世代通信関連企業(※)の株式(預託証書(DR)を含みます。)に投資します。</p> <p>※この投資信託において「アジア次世代通信関連企業」とは、日本を含むアジア諸国・地域の通信技術の発展によって業績面で恩恵を受けることが期待される企業をいいます。</p> |
| 分配方針 | 年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 |

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019/1~2023/12)



(注1) 当ファンドについては2021年2月~2023年12月(5年未満)、他の代表的な資産クラスについては2019年1月~2023年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

1 当ファンドの組入資産の内容

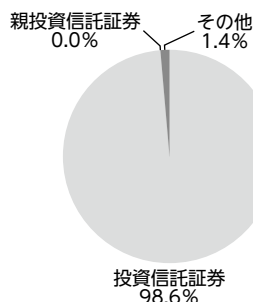
○組入ファンド

| | 当期末 |
|---|-----------|
| | 2024年1月9日 |
| Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class | 98.6% |
| マネープールマザーファンド | 0.0% |
| その他 | 1.4% |
| 組入ファンド数 | 2 |

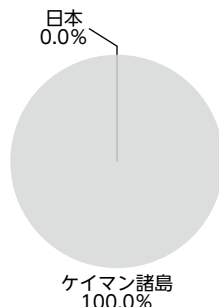
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

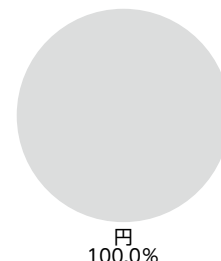
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

| 項目 | 第4期末 |
|------------|-----------------|
| | 2024年1月9日 |
| 純資産総額 | 42,525,283,554円 |
| 受益権総口数 | 26,686,696,251口 |
| 1万口当たり基準価額 | 15,935円 |

※当期間中における追加設定元本額は422,173,324円、同解約元本額は17,144,579,853円です。

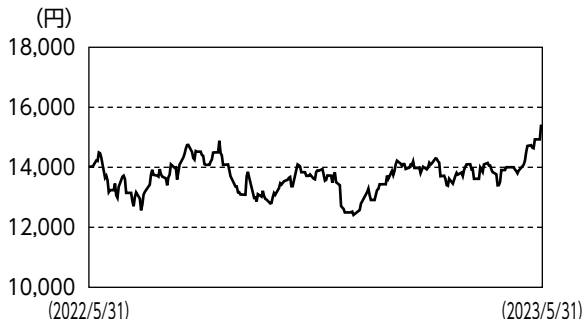
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

Next Generation Connectivity Asia Fund JPY Unhedged Class

○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資した
ものとして当社が別途計算したものです。

○1万口当たりの費用明細

当該情報が取得できないため記載しておりません。

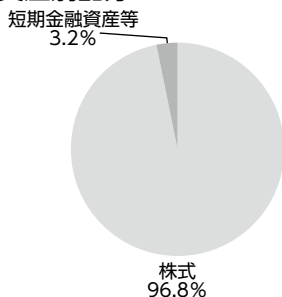
○上位10銘柄

| 順位 | 銘柄名 | 国・地域 | 組入比率 |
|----|------------------------|------|------|
| 1 | SKハイニックス | 韓国 | 4.1% |
| 2 | ハーモニック・ドライブ・システムズ | 日本 | 4.0% |
| 3 | アクトン・テクノロジー | 台湾 | 3.7% |
| 4 | ジェンテック・プレジジョン・インダストリアル | 台湾 | 3.5% |
| 5 | イー・インク・ホールディングス | 台湾 | 3.4% |
| 6 | ソシオネクスト | 日本 | 3.3% |

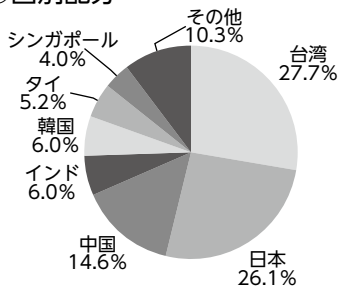
| 順位 | 銘柄名 | 国・地域 | 組入比率 |
|-------|---------------------|--------|------|
| 7 | JMDC | 日本 | 3.3% |
| 8 | ゴールド・サーキット・エレクトロニクス | 台湾 | 3.3% |
| 9 | ファブリネット | タイ | 3.2% |
| 10 | AEMホールディングス | シンガポール | 3.1% |
| 組入銘柄数 | | | 47 |

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

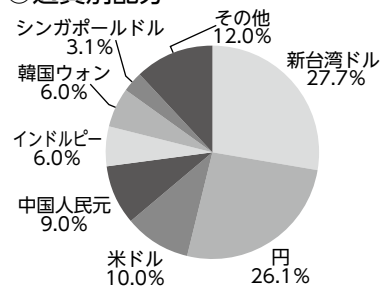
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月31日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは実質投資先であるNext Generation Connectivity Asia Fund全体の内容を記載しています。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

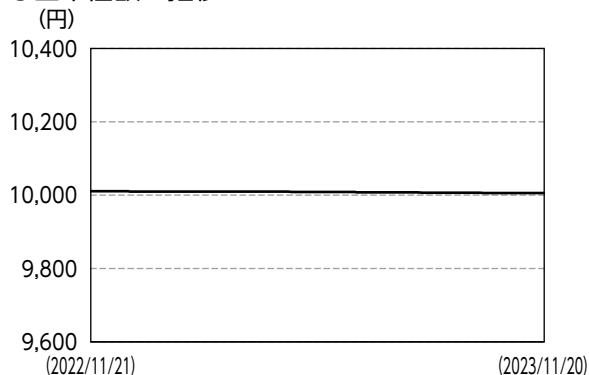
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

マネープールマザーファンド

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

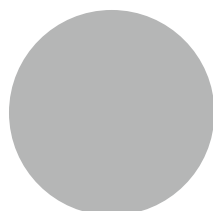
(2022年11月22日～2023年11月20日)

| 項目 | |
|--------------------|-----------|
| (a) その他費用 (その他) | 0円 (0) |
| 合計 | 0 |

○上位10銘柄

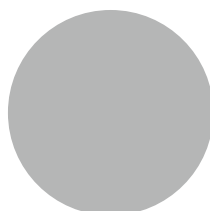
当期末における該当事項はありません。

○資産別配分



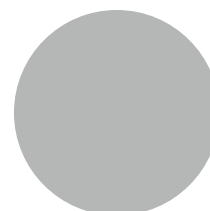
短期金融資産等
100.0%

○国別配分



日本
100.0%

○通貨別配分



円
100.0%

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月20日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。